

©本品を使用される前に必ずお読み下さい。

WAGNER

ワグナーハンドエアレスガンシリーズ

ミニペインター TM-15A

取扱説明書



日本ワグナー・スプレーテック株式会社


この度は、ワグナーハンドエアレス「ミニペインター TM-15A」をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。この取扱説明書には、重要な注意事項が記載されていますので、ご使用前には必ずお読み下さい。


尚、ご不明な点、ご要望等ございましたら、お気軽に最寄りの弊社営業所までご連絡をお願いします。

1. 安全使用上の注意



「ミニペインター TM-15A」を安全にお使い頂くために必ず次の注意事項をよくお読み下さい。正しい手順で取扱わないと、場合によっては重大な事故を引き起こす恐れがあります。

 **警告** この表示は使用者が重傷を負う、または死亡する可能性のある危険性についての“警告”が記されています。

 **注意** この表示は、使用者が負傷する、または機器が破損する可能性のある危険性についての“注意”が記されています。

(注) 取扱説明書内で、特に注意を促す必要のある項目には(注)と記しています。

警 告

- 本機をご使用の前に取扱説明書、ラベルをお読み下さい。
- 本機を改造しないで下さい。
- 本機をご使用の前に必ず点検して下さい。異常が見られたら直ちに修理するか、新品に交換して下さい。
- ご使用場所は、清掃・整理整頓し、常に換気を良くして下さい。
- ご使用に際しては、塗料および溶剤は製造メーカーの仕様書を読み、作業中は常に保護メガネや、手袋、作業衣および防毒マスクをして下さい。
- 吹き付けられる塗料は非常に高圧で、危険です。作業中は絶対ノズルヘッドの先端に手を近づけたり、ノズルヘッドを人に向けしないで下さい。
- 吹き付けられた液体で皮膚を傷つけた場合、直ちに医師の診断を受け、使用していた塗料、および溶剤名を報告して下さい。
- 本機を水につけたり、雨の中や湿気の多い場所で使用しないで下さい。
- ノズルヘッド、コンテナの脱着などの作業中は必ず電源コードをコンセントから抜いて下さい。

注 意

- 10秒程スイッチを押しても塗料が出てこない時は、作業を中断して下さい。異常な状態でスイッチを押し続けるとコイルを焼き切る恐れがあります。
- 連続使用時間は5分間以内として下さい。
- 電源コードは乱暴に扱わないで下さい。コードを持って運んだりコンセントから抜く時は、必ずプラグをつかんで下さい。

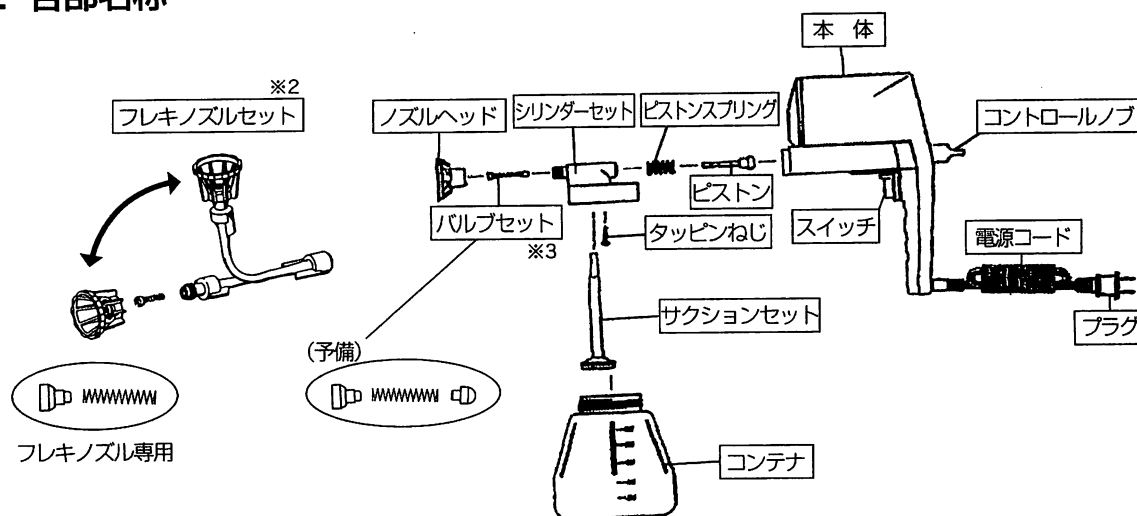
2. 製品仕様

2-1 仕様一覧および標準セット内容

定格電圧	100V・50/60Hz	本体	1
最大消費電力	75W/50Hz・65W/60Hz	フレキノズルセット(0.6×150mm) ^{※2}	1
最大吐出量	300cc/min	バルブセット(予備) ^{※3}	1
重量	1.4kg	取扱説明書	1
連続使用時間	5分間 ^{※1}		

- ※1 ●コンテナには900ccの塗料が入り、量約4枚分(6.6㎡)が塗装できます。これは一般的な水性塗料の1回塗りの目安で約3分間でコンテナが空になります。
- スイッチは5分間以内で一度切ってください。コンテナ以外で別容器、塗料缶などから直接吸い上げる時は、必ず守ってください。

2-2 各部名称



- ノズルヘッド…塗料の出口(塗料を霧にします。)
- フレキノズルセット(※2)…吹付方向が自由に換えられ、天井や床の塗装などに便利です。繰り返し折り曲げが可能です。(手で曲げて使用して下さい。)
- バルブセット(※3)…塗料の吸入・吐出弁(消耗品)定期交換及び塗料が出なくなった時、交換して下さい。
- シリンダーセット…ポンプシリンダーを内蔵、およびコンテナ取付部
- ピストンスプリング…ピストンの戻り用
- ピストン…ポンプシリンダーの中で高速で前後し、塗料の吸入、圧縮、押し出し
- タッピンねじ…本体にシリンダーセットを固定するねじ(2本)
- サクシオンセット…塗料の吸い上げ用パイプ(フィルター付)
- コンテナ…塗料容器(900cc以上入れられないで下さい。)
- 本体…ポンプ駆動装置内蔵
- スイッチ…ポンプ作動「ON」、 「OFF」
- コントロールノブ…吐出量の調整
- 電源コード…AC100V 50/60Hz 接続

3. 使用方法

⚠ 注意

- 使用する塗料・うすめ液は、製造メーカーの仕様書に基づいて作業して下さい。
- うすめ液にて試し吹きをし、性能を確認の上、塗料に変えて下さい。

- ① 塗料を用途に合わせた濃さ（粘度）にうすめ、十分攪拌して下さい。
- ② ①の塗料をろ過して下さい。（古いナイロンストッキングなどにて）
- ③ ②の塗料をコンテナに入れて下さい。
注）900cc以上入れないで下さい。
- ④ サクションセットをシリンダーセットに少し強めに差込んで下さい。
注）差込みが弱いと振動でゆるみ、空気をかみ込みます。
- ⑤ コンテナをシリンダーセットに取付けて下さい。
注）コンテナのねじ部などに付着した塗料を拭きとり、しっかりねじ込んで下さい。
- ⑥ スイッチを押しながらコントロールノブを左へ廻していくと「ブー」という音と共に塗料が出てきます。
注）●コントロールノブは、右一杯戻した「0」から徐々に左に廻し、最良の位置で止めて下さい。
●スイッチを入れてもすぐには出ません。塗料通路の空気を押し出すのに5～10秒かかります。
●5～10秒押ししても出ない時は、スイッチを切り点検して下さい。

⚠ 注意

- 標準のノズルヘッドからフレキノズルセットに変更する場合は、バルブセットの装着および取付部のネジが、シリンダーセットのネジに正しく取付けられていることを確認して下さい。

4. 吐出量の調整

コントロールノブを左へ廻す→吐出量が増加（最良と思える位置で止めて下さい。）

コントロールノブを右へ廻す→吐出量が減少し、「0」になります。

- 注）●塗料の種類、濃さ（粘度）によってコントロールノブの止める位置は変わります。左一杯廻したところが最大ではありません。本体保護の為、吐出圧力が下がります。

